

日本共産党 つくば市議予定候補

佐藤せつ子 さんを
紹介します

働き者の両親と自然に囲まれて

佐藤せつ子さんは旧谷田部の農家に生まれ、父・母・兄妹3人の5人暮らし。ネギ、梨、栗など何でも作り、朝早く土浦市場に出荷する父。

そんな働き者の両親と障がいをもつ兄、元気印の姉とともに、自然に囲まれてのびのびと育ちました。

10月27日
つくば市議選

日本共産党
つくば市議予定候補

保育士41年
の経験いかし

市議会に
初挑戦
します

佐藤せつ子



コーラス・生け花・バレエ 元気いっぱい高校生活

水海道一高ではコーラス部、生け花部、バレエ部、読書会と沢山のクラブをかけもちする活発な高校生。当時、水海道にあった映画館でアウシュビッツ収容所やはだしのゲンの映画も見ると、平和の大切さを心に刻みました。

日産をへてまっぼっくり保育園へ

卒業後、日産自動車などに勤務。その後、25歳の時「いっしょに保育所をやらないか」と誘いを受け、無認可のまっぼっくり保育園へ。国や市からの補助金がないため経営は大変。佐藤さんも保護者と協力してバザーを開催したり、土地探しや署名運動に奔走。とうとう認可を実現しました。開園からずっと100%手作りの素材を生かした給食・おやつづくり、リズム体操で思い切り体を動かす保育を実践してきました。



趣味の二胡を弾く佐藤さん

ご支援を
お願いします！



姉 青木 道子 さん ぶどう農家
つくば市農業委員

よくぞ決意してくれました。働き者の父、障がいのある兄と私たちの世話に追われた母、その中で妹は真面目で責任感のある人になり、子ども達や父母にも慕われてきました。必ず皆さんと共に住み良いつくばのために頑張れると思います。大きなご支援を妹・せつ子にお願いします。



いのち育みくらしを守るつくばに。

保育士として41年、
「子どもの笑顔」
のためにはたらいて
きました。今度は
「市民の笑顔」
のために全力でがんばります。



つくば市議予定候補

佐藤せつ子

子育て あんしん

私はまつぼっくり保育園で「心」と「体」を育てる保育に取り組んできました。子ども達が笑うことは勿論、泣くことも大切。喜怒哀楽

を表現し自分の思いを伝えること、触れ合いの中で自分の居場所を見つけ、しなやかな心が育っていく。そんな保育をめざしてきました。子育て安心のつくば市をつくりたいです。

絵本を読み聞かせる佐藤さん



原発ゼロ

3.11の原発事故当時、保育園では父母と園庭の土を削って、線量計で放射線量を測る日々。

草花を摘んで楽しむことも、手づくりの野菜に触れさせることも不安でした。原発ゼロの社会を子どもたちに手渡すために、東海第2原発の廃炉を求めます。

えっ!? 議員報酬 30%増!

反対したのは 共産党 だけ

市長は給食無償化など市民生活に寄り添う支援には極めて消極的なのに、議員報酬を30%、年約220万円も引き上げる条例を今年3月に提案。日本共産党は「温めるべきは議員のフトコロではなく市民の家計」とキッパリ反対。他の議員はいずれも賛成しました。

共産党 他の議員

議員報酬アップ年220万円	反対	賛成
公立保育所8か所の廃止	反対	賛成
後期高齢者医療保険料値上げ	反対	賛成



平和が いちばん

イスラエルのガザ攻撃、ロシアのウクライナ侵入で泣き悲しむ子どもの姿をみるたびに胸が締めつけられます。政治の一番の仕事は戦争をしないこと。憲法を生かした平和外交を求めます。

願い届ける佐藤せつ子さんに期待します



まつぼっくり保育園 元園長

山崎 ひと子

せつ子さんは2人の子育てをしながら、子どもの育ちや親の大変さを親身に受けとめる保育士として頼られてきた人です。今度は市民のくらしを守るために市政に送ってください。



元市会議員

滝口 隆一

4年前はたくさんのご支援をいただき感謝いたします。市民の願いを届ける役割を今度は佐藤さんに託します。温かい人柄の中に命や平和への信念をもつ人です。私に倍するご支援をよろしく願いいたします。



国松在住

酒寄 基男

食の6割以上を外国に依存しているなんてあり得ません。つくば市は研究学園都市と自然豊かな田園地帯。農家の人たちとも協力し、バランスの取れた未来都市にしていきたいと思います。農家の気持ちがわかるせつ子さんを応援しています。

力をあわせて 実現をめざします

- 学校給食費の無償化・地産地消の推進
- 高齢者・障がい者の公共交通に運賃補助
- 水道料金引き上げストップ
- 介護保険料・利用料、国保税の負担軽減
- 県立高校の増設を



今こそ必要! くらし支える市政

共産党 2 → 3 議席に伸ばしてください

今のつくば市政は市民の願いに添っているでしょうか。子育て政策では公立保育所の耐震化をせず廃止。

さらに高齢者のおむつ券・布団乾燥の利用条件の縮小や敬老祝い金の支給年齢の引き上げ、敬老福祉大会も廃止など福祉・教育分野での後退が続いています。議員の仕事は市政をチェックすること。くらしが大変な今こそ、市民の立場で頑張る議員が必要です。